

I. 平成30年度の実績

グループ名称	九州快適な住まいづくりの会				
H30採択グループ番号	07	—	0566	—	0691

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	<p>・グループとして30年度に最も力を入れたのは、平成28年度熊本地震以降、グループ構成員の過半数以上被災地となり、地域貢献の使命感としても熊本地震復興に対しては「罹災証明」「日本財団わがまち基金」「くまもと型復興住宅」情報発信を地域工務店へ、消費者へ行い。情報の相互理解、以前の生活を取り戻す等、情報発信、展示会等への参加など推進しております。また、事務局員自ら地盤調査員となり地盤調査を行うなども致しております。</p>
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	無	開催日		名称			
	内容							
② 消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称			
	内容							
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2017/12/11	名称	ZEHや省エネ住宅のメリットをお客様に理解いただく営	タイプ	座学 ●
	工務店研修会 2	有	開催日	2018/01/18	名称	省エネルギー講習工務店経営者向け講習会	タイプ	座学 ●
	工務店研修会 3	有	開催日	2018/09/12	名称	地盤から考える地震に強い家づくりセミナー	タイプ	座学 ●
	工務店研修会 4	有	開催日	2018/09/15	名称	住まいの耐震博覧会	タイプ	見学会 ●
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有		
	内容	<p>・事務局にて未経験工務店を中心に、事務局員がサポートにつき「長期優良住宅認定制度の概要」「長期優良住宅のメリット」さらには、九州快適な住まいづくりの会にて供給した住宅の費用の比較など個別に提案、申請を行う事により自信を持って対応できるようにした。</p>		
取組み②	サポートの有無 2			
	内容			
取組み③	サポートの有無 3			
	内容			

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	4	発行予定	24
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	プロパティオン株式会社	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	無	
内容		
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	<p>・グループ構成員全員に対して省エネ講習会への受講を義務付け、特に施工構成員には事務局が省エネ講習受講者リストを作成の上、開催日時の連絡をし、講習会への参加促進を行っている。昨年度までの終了者数は請負技能者数も含めると42名となった。</p>	
省エネ化に対する取組 ②		
内容		
BELS工務店の登録数	5 社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	九州快適な住まいづくりの会			
H30採択グループ番号	07	—	0566	— 0691

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	無	開催日		名称			
	内容							
② 消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称			
	内容							
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/06/14	名称	ハウスフェスタ2019	タイプ	見学会
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/09/14	名称	住まいの耐震博覧会	タイプ	見学会
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有	
	内容	・未経験工務店を中心に、事務局員がサポートにつき長期優良住宅などの提案から設計・申請手続きの助けを行う。今年度の目標は3社とする。	
取組み ②	サポートの有無 2		
	内容		
取組み ③	サポートの有無 3		
	内容		

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	プロパティオン株式会社
------------	----------	-----	-------------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	無	
内容		

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有	
内容	今年度実施される省エネ化に向けた研修会に関して受講を推奨する。	
省エネ化に対する取組み (改修)		
内容		

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	無	実施日	
内容			
研修計画 ②		実施日	
内容			

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	九州快適な住まいづくりの会				
H30採択グループ番号	07	—	0566	—	0691

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	<p>・私たちが目指すのは、「地域の気候・風土に根差した、快適で省エネな住まいをご提供する事」にあります。その為、厳しい日射対策として①硝子はLow-Eガラスか②外装下地の透湿防水シートは耐熱タイプ、①②いずれかの対策を行う。台風対策として大きい窓には両戸、シャッター、強化ガラスのいずれかを採用する。シロアリ対策として防蟻処理はGLより1500mm以上とする。豪雨、洪水対策として基礎高は400mm以上、躯体内バルコニーがある場合は必ずオーバーフロー管を設ける。などの「グループの共通ルール」を定めております。</p>	●
----	--	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上		
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明						
主要構造材	土台	有	特になし				
	柱	有					
	梁・桁等の横架材等	有					
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無					
造作材	枠材、廻縁等	無					
板材	壁板、床板等	無					

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	無	
内容		
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	・「中九州快適なエコの家 仕様カタログ」によりキッチン、UB、洗面化粧台、トイレ、給湯器などの住設機器、サッシ、断熱材、内装建材などを標準設定として提案。建材メーカーへの協力要請でコスト削減に取り組む。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	無	
内容		
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	・「グループの共通ルール」に基づき施工の実施、省エネ施工に関しては省エネルギー技術講習会の施工講習を受講し、施工技術の共通化を図る。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	無	
内容		
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	無	
内容		
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	・工種別見積の記載と別途工事の判断できる項目を記載し、工種ごとの明細も記載した信頼性の高い見積書とする事を義務化する。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	特になし	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	無	内容	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	無	内容	
③ 社会保険への加入	有	内容	基本的に全事業者が加入している。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	無	内容	

II. 平成31年度の取組みの計画

(3)地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	九州快適な住まいづくりの会				
H30採択グループ番号	07	—	0566	—	0691

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	・和室がある場合は熊本県産・福岡県産の藁草を使用した畳とする事を推奨する。
② 和瓦の活用	有	内容	・屋根材が瓦の場合は国産の防災瓦を推奨する。
③ 襖・障子の活用	有	内容	・和室がある場合は建具の和室側は襖を採用事、内障子を設ける事を推奨する。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	・調質効果のある漆喰壁等を推奨する。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	無	内容	
② 地域の住まい方の継承	無	内容	
③ 地域の街並み形成への配慮	無	内容	

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み
<p>・平成28年度熊本地震では「九州快適な住まいづくりの会」ではグループ構成員の過半数(50%以上)が被災地となった。各構成員からの相互情報などから復興状況、対応方法、各種補助金、助成金、くまもと型復興住宅など住宅再建を支援するものがあります、当グループとしても協力体制のもと復興支援を推進しております。</p>
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み